

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4322
23年2月3日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

九州労働弁護団総会 権利討論集会報告

おはようございます。

早いもので2月になり、今年も明日2月4日が立春です。暦の上では春ですが、まだまだ寒い日は続きそうです。

そんな中、秋の九州大会でベスト4に入った、長崎日大高校野球部と海星高校野球部に心待ちにしていた春の切符が届きました。選抜高校野球大会(春の甲子園)に長崎県内から2校選ばれるのは、長い大会の歴史の中で初めてのことです。

今年もWBCも開催されます。春は野球から目が離せません。

1月27日、28日に島原のホテル南風楼で開催された「2023年九州労働弁護団 総会・権利討論集会」に山田支部長、原田副支部長、米地

九州地本委員長が参加しました。

1日目は梶原九州労働弁護団会長の開会挨拶から始まり、来賓挨拶では長崎県労連乾議長、長崎地区労加世田書記長の2名が挨拶を行いました。

続く現地長崎の事件報告では、中川弁護士が「競業禁止義務違反による解雇事件勝利判決」を報告されました。

また、「長崎県立大学損害賠償請求事件」、「給付法と教育現場について」長崎県教職員組合山下委員長より、過酷な教育現場の報告がありました。

休憩を挟み、西谷敏大(阪市立大学名誉教授)による講演に入っていました。



「21世紀の労働と労働法・労働運動」の演題での講演では、労働組合の機能不全や労使自治がもたらした長時間労働と正規、非正規の格差など、今の労働者の問題を分かり易く話されました。



特に印象に残ったのは「労働は苦役か義務か喜びか」という言葉でした。労働者の労働に対する考え方は働いている労働環境で大きく異なるはずですが。

労働が喜びになるような職場環境を作るために労働組合の力は大事だと感じました。

1日目終了後は懇親会が開かれました。懇親会では県別に弁護士をはじめとする参加者が壇上にあがって自己紹介・挨拶します。長崎からは簡単な挨拶と20条裁判の和

解の報告及び、これまでの支援へのお礼を述べました。久しぶりのリアル開催での懇親会という事で大いに盛り上がりました。

2日目は日本労働弁護団の本部報告、その後各地事件報告として「退職手当不支給処分取消請求勝訴事件」「高齢者の労災問題」「企画業務型裁量労働制交渉解決事件」「アマゾン組合員からの報告」などがありました。

アマゾン配達員労働組合員からの報告を紹介します。

今回労働組合を結成したのはアマゾンから委託のあった会社から再委託された配達員で、荷物量の増加による過重労働、個数が増えても変わらない日当への怒りが組合結成の原動力となった。



最初に結成した横須賀支部では、組合を作った成果として配送センターのハラスメントがなくなりました。また、今まで自分で用意していた置き配用のビニール袋が支給されるようになった。などの報告がありました。

長崎支部の組合員からは、横須賀に比べて日当が安い(長崎1万4500円、横須賀1万8000円)ガソリン代が高い(うえに、階段や坂が多いので1個配達するのに時間がかかる。車はリースで月5万円、ガソリン代が5万から8万円もかかる。日当が安いというのに経費がかかるため、仕事を辞める人もいる)との報告がありました。

長崎支部結成・交渉の結果としては、委託元の(株)Trumpが労働組合とは認めていないが任意協議として交渉に応じた、との事でした。同じ物流業界で働く者として待遇改善は急務だと感じました。

内容の濃い二日間の総会・集会は良い勉強になりました。次回は夏に宮崎での開催を確認して閉会しました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員が正社員化を。

めいめい、均等待遇を。

なげうち差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利を!